

「農事組合法人おぶくろ営農」の農林水産大臣賞の受賞について

担当：三光支所 農林建設課 友松（電話 0979-43-2050）

令和4年度の「全国麦作共励会」が令和4年12月22日に開催され、「農事組合法人おぶくろ営農」が集団の部37点のうち最上位の農林水産大臣賞を受賞しました。表彰式は、令和5年3月2日(木)東京都内において開催が予定されています。

「農事組合法人おぶくろ営農」は、市内三光小袋地区で表作に水稻を約21ha、大豆を約21ha、裏作に麦を約42ha栽培しています。平成9年に前身の小袋営農組合を設立し、平成20年に法人化しました。組合員数は49名で、三光小袋地区内の約9割の農地をおぶくろ営農に集積し、大型機械の導入や作業の効率化を図っています。また、育成状況に応じた施肥管理や水稻と大豆のブロックローテーションを実施しています。

麦の主要品目は醤油用として県内の醤油醸造メーカーへ出荷している小麦「はるみずき」で、令和4年産の10aあたりの収量は517kgであり、大分県平均の371kgを大幅に上回った水準の139%を実現しました。今後も作物の品種特性を把握しながら施肥の時期や量を研究し、更なる高品質と安定生産を目指しています。

麦収穫の様子



全国麦作共励会とは

一般社団法人全国農業協同組合中央会と一般社団法人全国米麦改良協会が主催する全国麦作共励会は、生産技術の向上あるいは経営改善の面から、創意工夫がみられ、先進的で他の模範となる麦作農家及び麦作集団を表彰し、その功績を広く紹介しています。

日本全国を北海道、東北・北陸、関東（長野、山梨を含む）、東海・近畿、中国・四国、九州の6ブロックに分け、各ブロックの1位者が中央審査委員会に推薦されます。中央審査委員会では、農家の部・集団の部それぞれに農林水産大臣賞ほか全国米麦改良協会会長賞、全国農業協同組合中央会会長賞、全国農業協同組合連合会会長賞、日本農業新聞会長賞の各受賞者を決定し、中央表彰式において各賞を授与します。

令和4年度は、14道県から農家の部41点、集団の部37点、合計78点の参加数がありました。